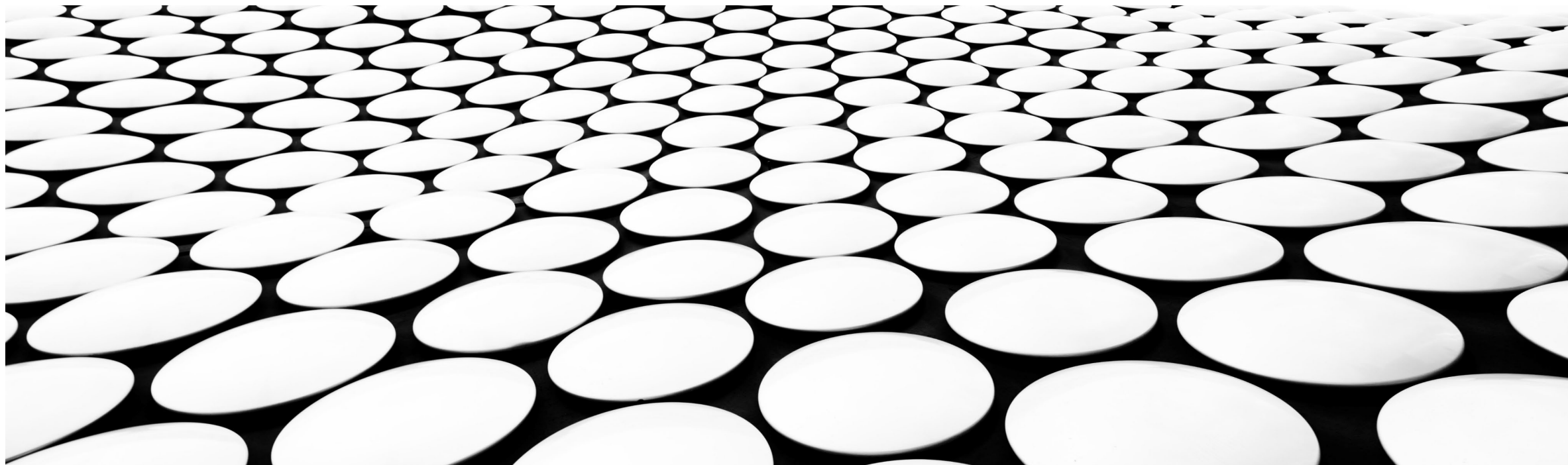




# これからのユニバーサルデザイン化に向けて

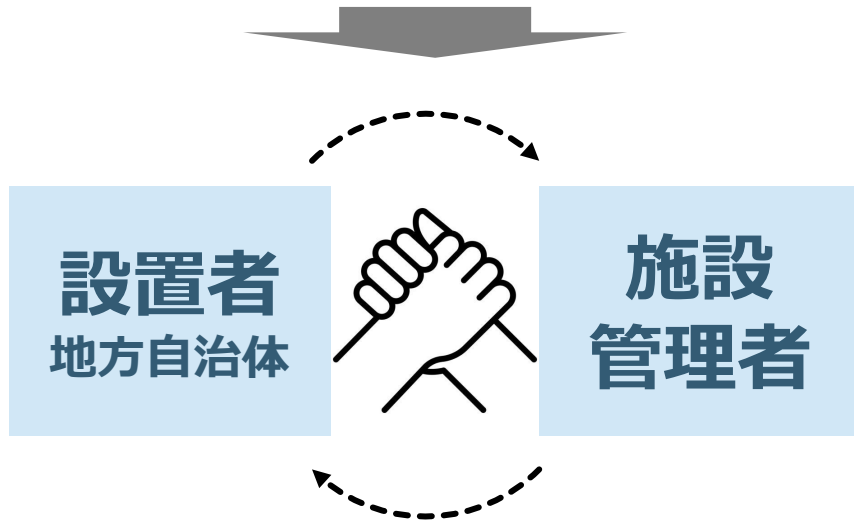
公益財団法人日本スポーツ施設協会

常務理事兼事務局長 水原由明



# はじめに（第3期スポーツ基本計画を踏まえて）

## 誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場づくり



## スポーツ施設を担う 両者が連携した取組を 推進

## 10. スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」

■今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

本文該当記載  
P.58~60

### 【政策目標】

国民がスポーツに親しむうえで不可欠となる「ハード（場づくり）」「ソフト（環境の構築）」「人材」といった基盤を確保・強化するため、場づくりや環境の構築、スポーツに関わる人材の育成等を進める。

①地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」の実現

### 【現状】

- ・公立スポーツ施設について、ガイドラインや先進事例の情報提供等を通じて、地方公共団体が行う老朽化対策や再整備等に関する個別施設計画の策定を促進し、一定程度策定を完了。学校体育施設の有効活用等について、手引きの策定やモデル事業の実施等を通じて促進。
- ・一方で、社会経済の変化に伴う住民ニーズ（量・質）の変化に応じた計画的なストックマネジメントの下で、地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場の量的、質的な充実がなお一層求められている。

### 【今後の施策目標】

- ストック適正化の下、既存施設の有効活用やオープンスペース等のスポーツ施設以外のスポーツができる場の創出、性別、年齢、能力等にかかわらず誰もがスポーツを行いやすくするユニバーサルデザイン化の推進等により、安全で持続可能な地域スポーツ環境の量的・質的充実を図る。

### 【主な具体的施策】



【スポーツ施設の全体最適化】  
地方公共団体のスポーツ施設に関する計画の内容充実・着実な実行



【「量」的充実】  
学校体育施設やオープンスペース等の多様な空間の有効活用



【「質」的充実】  
ユニバーサルデザイン化や民間の資金・ノウハウの活用等の推進

# I. 設置者（地方自治体）へのお願い

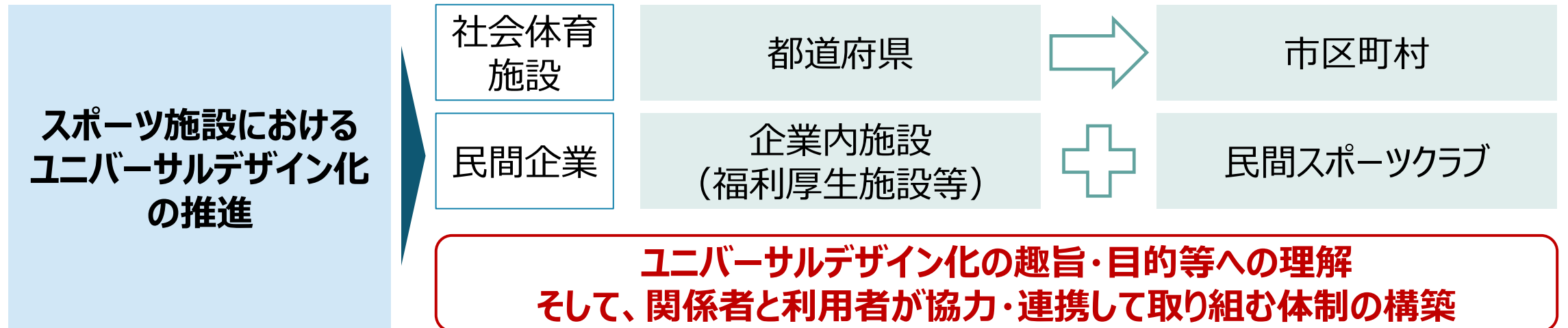
## 1. 設置者の意識改革

◎ユニバーサルデザインの推進にあたって…

### スポーツ施設の環境整備に加え、地域の生活環境すべてに通じる意識改革

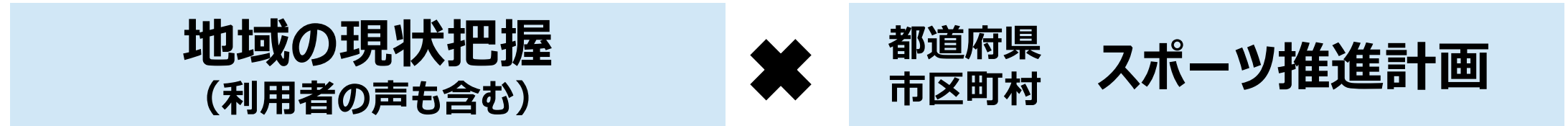
- ひとりひとりがユニバーサルデザイン化への理解
- お互いを尊重し助け合う心を育む

地域、そして全国の共生社会の実現に向けた取組であることを改めて発信

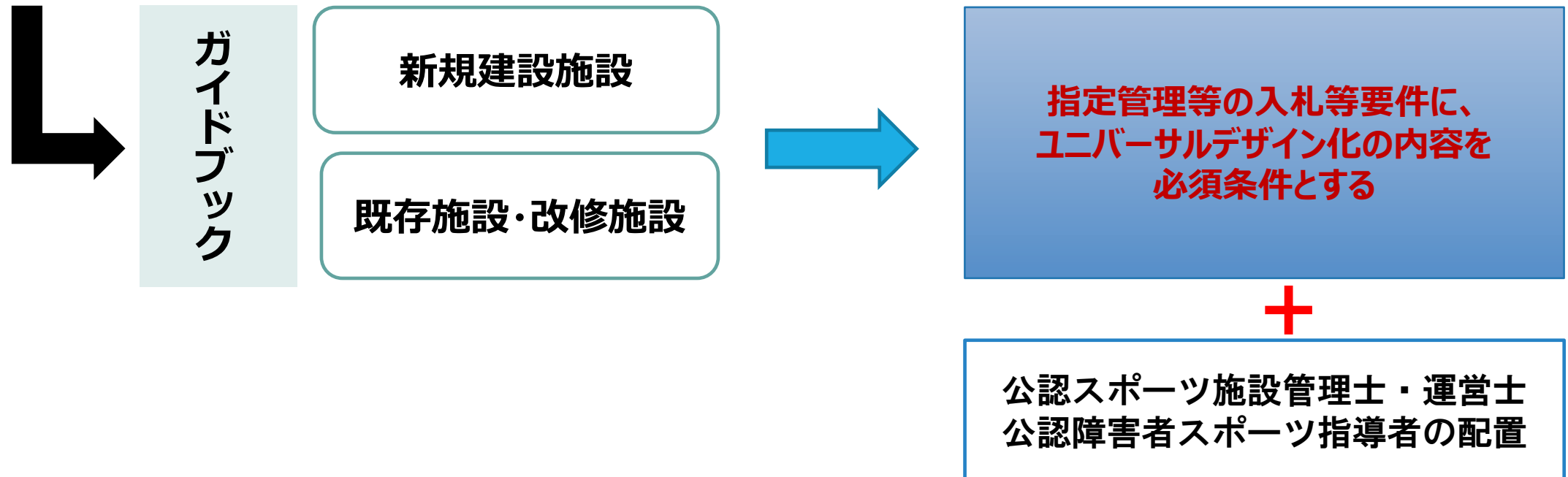


# 1. 設置者（地方自治体）へのお願い

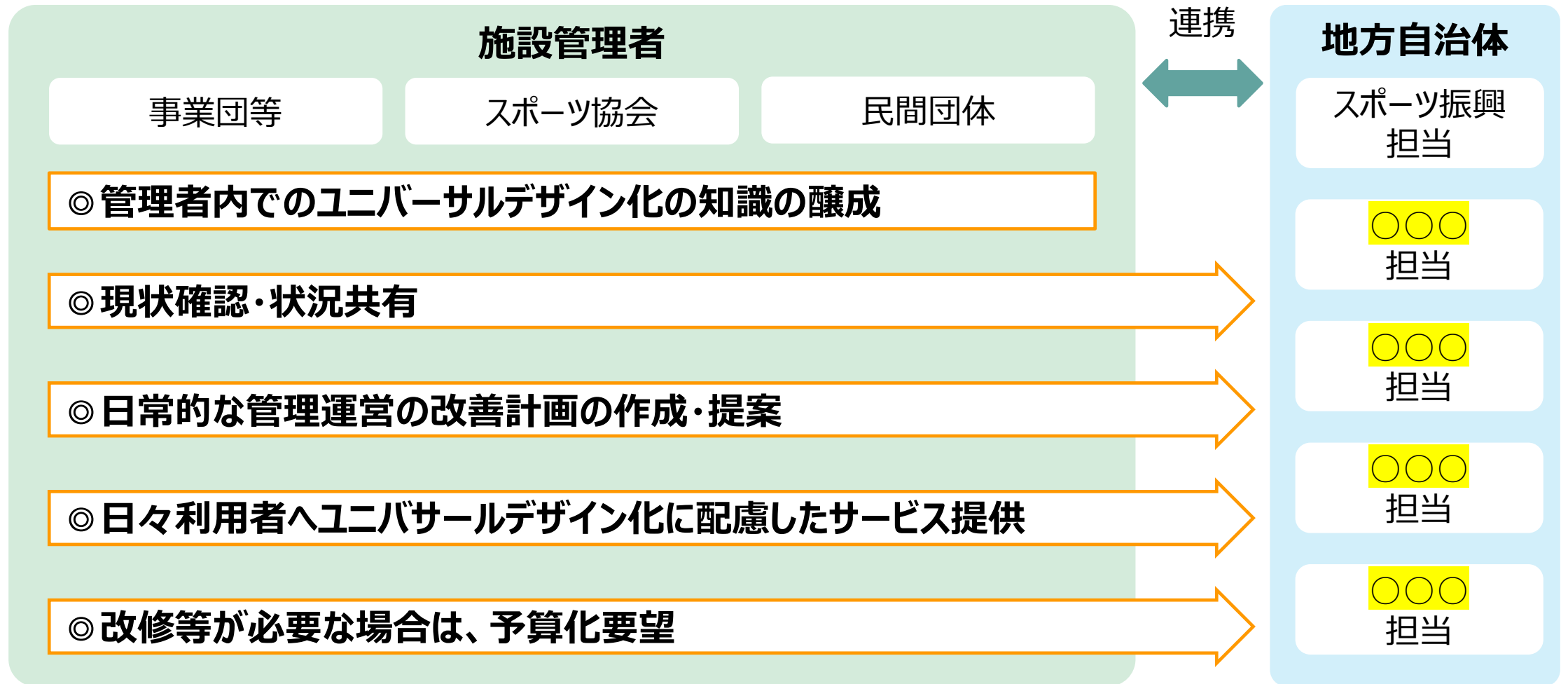
## 2. 現状把握とスポーツ推進計画との関連性



スポーツ施設のユニバーサルデザイン化 = まちづくりへの展開・共生社会の実現



## II. スポーツ施設の管理者へのお願い



**誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場づくりの実現**

## IV. スポーツを通じて目指すものとは

- ✓ 全ての項目を進めるうえでは、**ユニバーサルデザイン化の概念を念頭に計画し、実行していかなければならない。**
- ✓ 特に当協会としては、スポーツ庁と連携し、ユニバーサルデザイン化推進のため、4 7 都道府県体育・スポーツ施設の協力を仰ぎながら**理解啓発のための研修会の開催を継続的に実施して行くことが大切**であると考える。

### 第3期スポーツ基本計画（今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策）

#### ① 多様な主体におけるスポーツの機会創出

地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上 等

#### ④ スポーツの国際交流・協力

国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討 等

#### ⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり

武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化 等

#### ⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用の促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全N Fでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援 等

#### ② スポーツ界におけるDXの推進

先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等

#### ⑤ スポーツによる健康増進

健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化 等

#### ⑧ スポーツを通じた共生社会の実現

障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等

#### ⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保

暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進 等

#### ③ 国際競技力の向上

中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSPC・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催 等

#### ⑥ スポーツの成長産業化

スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援 等

#### ⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援 等

#### ⑫ スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解啓発等の推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開 等

## V. 日本スポーツ施設協会における今後の課題

### 1. 公認資格者の養成講習会カリキュラムの内容の検討

⇒ユニバーサルデザイン化推進のための内容の追加

### 2. ブロック別体育・スポーツ施設研究協議会においてユニバーサルデザイン化推進のための講演を計画

⇒全国9ブロックにおいてユニバーサルデザイン化推進のための講演の実施

### 3. ユニバーサルデザイン化推進のための研修プログラムの検討

⇒地域のUD化推進に向けた研修プログラムの作成

今後とも、安全・安心な施設を「つくる、はぐくむ」そして、  
人々が「集まり、ともに、つながる」スポーツ施設を目指し、  
「だれもが、性別、年齢、障がい等にかかわらず、いつでも  
スポーツが行える」（アクセスできる）

環境づくりにご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ご清聴ありがとうございました。